書写１年

第１学年　国語科（書写）		
目標	○姿勢や用具の持ち方を正しくして，筆順に従って，文字を丁寧に書く。 ○点画の長短，方向などに注意して，文字を正しく書く。	
月	単元名（時間）	学　　習　　活　　動
4	1　しせいと　もちかた　（3）	※国語の学習と並行して進められるよう，国語の指導者と連携して指導する。 ○書く時の正しい姿勢を確認する。 ・机と椅子の位置と座る場所，上体，足の位置など正しい姿勢について確認する。 ・用具を持つ手の反対を添えて書くこと，下敷きを用いて書くことを確認する。 ・「もじをさがそう」を見ながら，見付けた文字を，腕を大きく動かして空書きする。 ○正しい鉛筆の持ち方を確認する。 ・指の位置や力の入れ方など正しい鉛筆の持ち方を確認する。 ○縦・横・斜めの直線やいろいろな形を正しい姿勢，鉛筆の持ち方で書く。
5・6・7	2　ひらがな　（8）	○「こい」を正しい書き順で書き，文字には書き順があることを知る。 ○とめ，はらいの書き方を知る。（※国語の平仮名の習得状況に合わせて，「ひらがなスキル」や「平仮名プリント」を進めてもよい。） ○「くつ」「いし」「とり」「うたう」などを書き，とめ，はらいの練習をする。 ○おれ・おりかえし，まがりの書き方を知る。（※国語の平仮名の習得状況に合わせて，「ひらがなスキル」や「平仮名プリント」を進めてもよい。） ○「そら」「ゆめ」「えのぐ」「かびん」などを書き，おれ・おりかえし，まがりの練習をする。 ○むすびの書き方を知り，「よむ」「まほう」などでむすびの練習をする。 ○平仮名の形に気を付けて，「みち」「ぬりえ」などを書く。 ○これまでの学習を生かして，姿勢や用具の持ち方を正しくして，「ひらがなの　ひょう」を書く。
	3　えにっきを　かこう　（1）	※国語の学習「えにっきを　かこう（『こんな　ことが　あったよ』）」と関連して学習を進められるよう，国語の指導者と連携して指導する。 ○句読点の打ち方やかぎ括弧の書き方を知り，絵日記を書く。
9	4　よこに　かくとき　（1）	※国語の学習「みんなに　はなそう（『ききたいな，ともだちの　はなし』）」と関連を図れるとよい。 ○横書きのきまり（縦書きは漢数字だが，横書きは算用数字を用いること，読点はカンマを用いてもよいこと，促音・拗音・句読点が縦書きと位置が異なることなど）を知り，なぞり書きをしたり，夏休みの思い出スピーチの原稿を書いたりする。

書写１年

１０	５　かたかな　（３）	※国語の学習「かたかなを　みつけよう」と関連して学習を進められるよう，国語の指導者と連携して指導する。 ※「カタカナスキル」などを用いて，片仮名を習得する指導としてもよい。 〇とめ，はね，はらい，おれ，まがりに気を付けて，「ハーモニカ」などを書く。 〇促音や長音の書き方を知り，「スープ」「オレンジ」「コロッケ」などを書く。 〇これまでの学習を生かして，「かたかなの　ひょう」や自分の名前を書く。
１１・１２	６　かん字　（５）	〇上から下へ，左から右へという書き順の決まりを知り，「三」「川」「中」などを書く。 〇とめ，はね，はらいに気を付けて，「一」「人」「小」などを書く。 〇おれ，まがり，そりに気を付けて，「日」「九」「子」などを書く。 〇漢字の外形に気を付けて，「糸」「四」「雨」「土」などを書く。 〇「三」と「ミ」，「八」と「ハ」などを比べて，画の長さや方向に気を付けて，「王」「出」「火」「赤」などを書く。
	７　かきぞめを　しよう　（３）	〇書き初めについて知り，今までに学習したことを生かして，「お正月」（鉛筆）を丁寧に練習する。
１		〇鉛筆の持ち方や点画の長短，方向などに注意をして，丁寧に清書する。（書き初め大会） 〇今までに学習したことを生かして，フェルトペンで「お正月」を書く。
２・３	８　１年生の　まとめ　（５）	〇とめ，おれ，おりかえし，はらい，まがり，むすび，はね，そりなど，これまでの学習を生かして，平仮名や片仮名，漢字を書く。 〇「も」と「モ」，「や」と「ヤ」，「り」と「リ」など，形の似た平仮名と片仮名を見付け，違いに気を付けて書く。 〇「十」と「ナ」，「八」と「ハ」，「三」と「ミ」など，形の似た漢字と片仮名を見付け，違いに気を付けて書く。 〇今までに学習したことを生かして，「一年生のおもい出」を書く。 〇一年生で習う漢字を，書き方を確かめながら書く。

書写２年

第２学年　国語科（書写）		
目標	○書く姿勢や筆記具の持ち方に気を付けて書く。 ○点画の書き方や文字の形に気を付けて，正しい書き順で書く。 ○画の付き方や交わり方，長さや方向，間に気を付けて書く。	
月	単元名（時間）	学　習　活　動
4	1　はじめの 学しゅう（1）	○文字を書く姿勢と，鉛筆やフェルトペンの持ち方を身に付ける。 ・「しせいの 合いことば」を唱えながら，適切な姿勢を確かめる。 ・自分の姿勢と比べ，足の位置や腰のかけ方，書く位置や手の置き方など，適切な姿勢を身に付ける。 ・鉛筆の適切な持ち方を身に付ける。 ・はしの持ち方と鉛筆の持ち方を比べ，共通点を見付ける。 ・フェルトペンの適切な持ち方を身に付ける。
4 5 6	2　ひらがなと かたかな（5）	○画の終わりの書き方を思い出し，正しく書く ・画の終わりの書き方を確かめる。 ・止め・払い・はねに気を付けて，水書ペンや鉛筆で正しく書く。 ・小さい文字や伸ばす音の書き方を確かめて，正しく書く。 ○画の途中の書き方を思い出し，正しく書く。 ・画の途中の書き方を確かめる。 ・折れ・折り返し，曲がり，結びに気を付けて，水書ペンや鉛筆で正しく書く。 ・いろいろな結びの書き方を確かめて，正しく書く。 ○平仮名を正しく書く。 ・似ている平仮名の違っているところを見付ける。 ・似ている平仮名の画の長さや方向などの違いに気を付けて書く。 ・似ている平仮名の違いに気を付けて，正しく書く。 ○片仮名を正しく書く。 ・似ている片仮名の違っているところを見付ける。 ・似ている片仮名の画の長さや方向などの違いに気を付けて書く。 ・似ている片仮名の違いに気を付けて，正しく書く。 ○これまでに学習したことをいかして書く。 ・画の終わりや画の途中の書き方など，これまでの学習を確かめる。 ・書き順や字形に気を付けて，正しく書く。 ・平仮名・片仮名の言葉集めをして，正しく書く。
4 5 6	ことばを あつめよう　（1）	○身近なことを表す言葉を使って，丁寧に文章を書く。 ・様子を表す言葉を集め，書き出す。 ・様子を表す言葉を使って文章を作り，丁寧に書く。
4 5 6	よこに　書く とき　　（1）	○行が曲がらないように気を付けて，横書きで書く。 ・横に書くときの行の揃え方を知る。 ・行が曲がらないように気を付けて，丁寧に書く。
7	3　かん字①（6）	○点画の名前を覚え，水書ペンを使って，水書きシートに書く。 ○点画の書き方に気を付けて漢字を正しく書く。 ○正しい書き順で書く。 ・書き順を確かめる。

9 10		・正しい書き順で丁寧に書く。 〇間違えやすい漢字を正しい書き順で書く。 ・書き順を間違えやすい漢字の，正しい書き順を確かめる。 ・正しい書き順で丁寧に書く。 〇形に気を付けて書く。 ・漢字の外形を考え，同じ外形の漢字を探す。 ・漢字の外形に気を付けて，正しく丁寧に書く。 〇中心に気を付けて書く。 ・文字の中心を見付ける。 ・文字の中心に気を付けて，正しく丁寧に書く。
	原こう用紙に 書こう（2）	〇原稿用紙の使い方を理解し，文字を正しく書く。 ・原稿用紙の使い方を確かめる。 ・原稿用紙を正しく使い，字形を整えて文章を書く。（題材が生活科「電車にのって出かけよう」が時期に合っていてよい。） 〇原稿用紙を正しく使えているか，書いた文章を推敲する。
11 12	4　かん字②（8）	〇画の長さの違いに気を付けて書く。 ・画の長さを考え，画の長さの違いを確かめる。 ・画の長さに気を付けて，鉛筆で，正しく丁寧に書く。 〇「左払い」の方向の違いに気を付けて書く。 ・左払いの方向を比べ，水書ペンを用いながら，方向の違いを確かめる。 ・左払いの方向に気を付けて，鉛筆で，正しく丁寧に書く。 〇「折れ」の方向の違いに気を付けて書く。 ・折れの方向を比べ，水書ペンを用いながら，方向の違いを確かめる。 ・折れの方向に気を付けて，鉛筆で，正しく丁寧に書く。 〇「曲がり」と「反り」の方向の違いに気を付けて書く。 ・曲がりと反りの方向を比べ，水書ペンを用いながら，方向の違いを確かめる。 ・曲がりと反りの方向に気を付けて，鉛筆で，正しく丁寧に書く。 〇「点」の方向の違いに気を付けて書く。 ・点の方向を比べ，水書ペンを用いながら，方向の違いを確かめる。 ・点の方向に気を付けて，鉛筆で，正しく丁寧に書く。
1	書きぞめを しよう（3）	〇文字の形や書き順に気を付けて，「新しい年」（鉛筆）を丁寧に練習する。 〇鉛筆の持ち方や文字の中心を確かめて，丁寧に清書する。（書き初め大会） 〇フェルトペンの持ち方を確かめ，文字の大きさや中心に気を付けて，「新しい年」（フェルトペン）を書く。
2		〇間を揃えて書く。 ・文字を整えるために，画の間を揃えることを確かめる。 ・画の間に気を付けて，鉛筆で，正しく丁寧に書く。 〇画が付くか，交わるかに気を付けて書く。 ・画と画の付き方・交わり方の違いを確かめる。 〇画と画の付き方・交わり方に気を付けて書く。 ・画の終わりの付き方を確かめて書く。
	れんらくちょうに 書こう（1）	〇連絡帳の書き方を理解し，文字を正しく書く。 ・中心を揃えて，丁寧に連絡帳を書くことと書いたものを見直すことを繰り返す。

3	5　まとめ（2）	〇書写で学んだことを振り返り，水書ペンや鉛筆で，字形を整えて書く。 〇学習したことを生かして，思い出を作文にして書く。

書写３年

第３学年　国語科（書写）		
目標	○文字の組み立て方に気を付けて，形を整えて書く。 ○漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書く。 ○点画の種類を理解する。 ○毛筆を使って，穂先の向きや筆使い，筆圧に注意して書く。	
月	単元名（時間）	学　習　活　動
4	1　書くしせいと用具のあつかい方（２） ※２時間続きで実施する	○毛筆書写のよい姿勢と筆記具の適切な持ち方を身に付ける。 ・毛筆で書くときの適切な姿勢を知る。 ・鉛筆で書くときの姿勢との共通点や相違点を見付ける。 ・自分の姿勢と比べ，適切な姿勢を身に付ける。 ・筆の適切な持ち方を知る。 ・筆の適切な持ち方を確かめて，身に付ける。 ・その他の筆記具の適切な持ち方を確かめる。 ○毛筆用具の種類と名称，使い方・置き方・扱い方と，毛筆用具の後始末の仕方を知る。 ・毛筆用具の種類と名称，使い方・置き方・扱い方を知る。 ・毛筆用具の使い方・扱い方を確かめて，身に付ける。 ・用具の後始末の仕方を知る。 ・用具の後始末の仕方を確かめ，身に付ける。
5	2　筆で書いてみよう　（２）	○筆の特徴を知り，楽しく書く。 ・毛筆の弾力の感触を味わい，鉛筆やフェルトペンの違いを知る。 ・適切な姿勢・筆の持ち方で，いろいろな線を書く。 ・毛筆と鉛筆・フェルトペンの書き具合を比べ，毛筆の特性を考える。 ○穂先の正しい向きを知り，いろいろな太さの線を引く。 ・いろいろな穂先の向きで，横画・縦画の線を引く。 ・穂先の正しい向きを知り，正しい向きで横画・縦画を書く。 ・穂先を正しい向きにして，漢字の「一」を書く。 ・力の加え方を変えて，いろいろな太さの線を書く。 ・穂先の向きを変えなくても，筆圧を変えることで線の太さを変えられることを確かめる。 ・筆圧を調整して，太い線や細い線を書く。
5 6 7	3　漢字の筆使い（８）	○始筆・送筆・終筆に気を付けて，横画（「一二」）を練習する。 ・「始筆・送筆・終筆」を知り，始筆から終筆までの筆の運びを確かめる。 ・横画の筆使いを確かめて，「一二」を書く。 ○始筆・送筆・終筆に気を付けて，横画（「一二」）を清書する。 ○始筆・送筆・終筆に気を付けて，縦画（「川」）を練習する。 ・横画と縦画の「始筆・送筆・終筆」の相違点を見付ける。 ・縦画の筆使いを確かめて，「川」を書く。 ○始筆・送筆・終筆に気を付けて，縦画（「川」）を清書する。 ○折れる方向と筆使いに気を付けて，折れ（「日」）を練習する。 ・折れる方向と筆使いを「始筆・送筆・終筆」で確かめる。 ・折れる方向と筆使いを確かめて，「日」を書く。 ○折れる方向と筆使いに気を付けて，折れ（「日」）を清書する。 ○筆圧の強弱と筆使いに気を付けて，払い（「人」）を練習する。

		・左払いと右払いの筆圧の強弱と筆使いを確かめる。 ・筆圧の強弱と筆使いに気を付けて，「人」を書く。 〇筆圧の強弱と筆使いに気を付けて，払い（「人」）を清書する。
9	4　字形の整え方 （2）	〇筆順のいろいろな決まりを知り，正しい筆順で字形を整えて書く。 〇左右・上下・内外の組み立て方に気を付けて書く。
10 11	5　漢字の筆使い② （6）	〇筆圧の強弱と筆使いに気を付けて，はねと点を練習する。 ・筆圧の強弱に気を付けて，はねの筆使いと点の筆使いを確かめる。 ・穂先の通り道や筆圧の強弱に気を付けて，「小」を書く。 〇筆圧の強弱と筆使いに気を付けて，はねと点を清書する。 〇筆使いの違いに気を付けて，曲がりと折れを練習する。 ・曲がりと折れの筆使いの違いを確かめる。 ・曲がりと折れの筆使いの違いに気を付けて，「ビル」を書く。 〇筆使いの違いに気を付けて，曲がりと折れを清書する。 〇曲がりの筆使いとの違いに気を付けて，反りを練習する ・曲がりの筆使いとの違いを考え，反りの筆使いを確かめる。 ・曲がりの筆使いとの違いに気を付けて，「式」を書く。 〇曲がりの筆使いとの違いに気を付けて，反りを清書する。
	6　文字の配列 （3）	〇中心の目安になる画を見付けて書く。 ・文字の中心の目安になる画を考える。 ・中心の目安になる画を確かめて書く。
12 1	書きぞめ （3）	〇筆使いや点画の長さ，方向などに気を付けて「生きる力」を練習する。 ・一枚の半紙に一文字ずつ練習する。 〇筆使いや点画の長さ，方向などに気を付けて，「生きる力」を清書する。。 （書き初め大会２時間）
		〇配列よく書くための方法を知る。 ・配列よく書くための方法を確かめる。 ・配列に気を付けて，ことわざと「ふじ山」の歌詞を書く。 〇中心を揃えて書く。 ・横書きのときの二通りの中心の揃え方を知る。 ・行が曲がらないように気を付けて，中心を揃えて書く。
2	様子をくわしく 表そう　（1）	〇様子を表す語句を用いた文章を，字形を整えて書く。 ・雨の様子を表す言葉を考え，書き出す。 ・様子を表す言葉を用いた文章を，字形を整えて書く。
	7　ひらがなの 筆使い　（2）	〇漢字の筆使いとの違いに気を付けて練習する。 ・平仮名と漢字の筆使いを比べ，違いを見付ける。 ・穂先の通り道や筆圧に気を付けて，「つり」を書く 〇漢字の筆使いとの違いに気を付けて清書する。
8	８学習をいかして （1）	〇三年生の書写学習で学んだことをいかして練習する。 ＊これまでに学習したことを振り返り，確かめる。 ＊これまでに学習したことが「水玉」のどこに含まれているか考える。 ＊自分のめあてを立てて「水玉」を書く。

書写４年

第４学年　国語科（書写）		
目標	○文字の組み立て方に気を付けて，形を整えて書く。 ○漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書く。 ○点画の種類を理解する。 ○毛筆を使って，穂先の向きや筆使い，筆圧に注意して書く。	
月	単元名（時間）	学　習　活　動
4	1　書くしせいと用具のあつかい方（２） ※２時間続きで実施する	○毛筆書写のよい姿勢と筆記具の適切な持ち方を身に付ける。 ・毛筆で書くときの適切な姿勢を確かめる。 ・鉛筆で書くときの姿勢との共通点や相違点を見付ける。 ・自分の姿勢と比べ，足の位置や腰のかけ方など，適切な姿勢を身に付ける。 ・筆の適切な持ち方を確かめる。 ・筆の適切な持ち方を確かめて，身に付ける。 ・その他の筆記具の適切な持ち方を確かめる。 ○毛筆用具の種類と名称，使い方・置き方・扱い方と，毛筆用具の後始末の仕方を確かめる。 ・毛筆用具の種類と名称，使い方・置き方・扱い方を知る。 ・毛筆用具の使い方・扱い方を確かめて，身に付ける。 ・用具の後始末の仕方を確かめる。 ・用具の後始末の仕方を確かめ，身に付ける。
5 6	2　点画の組み立て方（６）	○三年生で学習した点画の種類や筆使いを確かめる。 ○穂先の向きと通り道，筆圧の強弱に気を付けて点画を書く。 ○「光」に含まれている点画とその筆使いを確かめ，字形を整えて「光」を練習する。 ○字形を整えて「光」を清書する。 ○二つの払いの方向を確かめ，方向に気を付けて「友」を練習する。 ○二つの払いの方向を確かめ，方向に気を付けて「友」を清書する。
6 7	3　字形の整え方（３）	○筆順と画の長さの違いを確かめて，「左右」を練習する。 ○筆順と画の長さの違いを確かめて，「左右」を清書する。 ○中心を目安にして，文字のつり合いを考えて書く。
9 10	4　部分の組み立て方（７）	○左右の部分の組み立て方に気を付けて「土地」を練習する。 ○左右の部分の組み立て方に気を付けて「土地」を清書する。 ○左右の部分の幅の違いを考えて書く。 ○上下の部分の組み立て方に気を付けて「竹笛」を練習する。

		○上下の部分の組み立て方に気を付けて「竹笛」を清書する。 ○上下の部分の高さの違いを考えて書く。 ○別の漢字の部分になったときの，形の変化に気を付けて書く。
11	5　ひらがなの筆使い　（3）	○結びの筆使いに気を付けて，「はす」を練習する。 ○結びの筆使いに気を付けて，「はす」を清書する。 ○やわらかい線に気を付けて平仮名を書く。
12 1	書き初め　（3）	○文字の中心，画と画の間などに気を付けて，文字の形を整えて「元気な声」を練習する。 ・一文字ずつ一枚の半紙に練習する。 ○文字の中心，画と画の間などに気を付けて，文字の形を整えて「元気な声」を清書する。（書き初め大会２時間）
2	6　文字の大きさと配列　（4）	○画数の多少による大きさの違いに気を付けて，「白馬」を練習する。 ○画数の多少による大きさの違いに気を付けて，「白馬」を清書する。 ○漢字と平仮名の文字の大きさに気を付けて書く。 ○行の中心や字間・行間の取り方に気を付けて書く。
	言葉を集めて分類しよう　（1）	○様子や行動を表す語句を用いた文章を，字形や配列に気を付けて書く。 ・「様子」「物や事」「動き」を表す言葉を考え，書き出す。 ・書き出した言葉を使って文を作り，字形や配列に気を付けて書く。
3	7　学習を生かして　（1）	○三年生の書写学習で学んだことをいかして練習する。 ・これまでに学習したことを振り返り，確かめる。 ・これまでに学習したことが「歩み」のどこに含まれているか考える。 ・自分のめあてを立てて「歩み」を書く。

書写５年

第５学年　国語科（書写）		
目標	○文字の組み立て方に気を付けて，形を整えて書く。 ○漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書く。 ○点画の種類を理解する。 ○毛筆を使って，穂先の向きや筆使い，筆圧に注意して書く。	
月	単元名（時間）	学　習　活　動
4	1　書くしせいと用具のあつかい方（２） ※２時間続きで実施する	○毛筆書写のよい姿勢と筆記具の適切な持ち方を身に付ける。 ・毛筆で書くときの適切な姿勢を確かめる。 ・鉛筆で書くときの姿勢との共通点や相違点を見付ける。 ・自分の姿勢と比べ，足の位置や腰のかけ方など，適切な姿勢を身に付ける。 ・筆の適切な持ち方を確かめる。 ・筆の適切な持ち方を確かめて，身に付ける。 ・その他の筆記具の適切な持ち方を確かめる。 ○毛筆用具の種類と名称，使い方・置き方・扱い方と，毛筆用具の後始末の仕方を確かめる。 ・毛筆用具の種類と名称，使い方・置き方・扱い方を知る。 ・毛筆用具の使い方・扱い方を確かめて，身に付ける。 ・用具の後始末の仕方を確かめる。 ・用具の後始末の仕方を確かめ，身に付ける。
5 6 7	2　字形の整え方（８）	○点画の組み立て方に気を付けて，文字を正しく整えて書く。 ○部分の組み立て方に気を付けて，文字を正しく整えて書く。 ○字形を整えるポイントを確かめて，「春」を練習する。 ○字形を整えるポイントを確かめて，「春」を清書する。 ○「にょう」のある文字の組み立て方に気を付けて「道」を練習する。 ○「にょう」のある文字の組み立て方に気を付けて「道」を清書する。 ○内外のいろいろな組み立て方に気を付けて，文字を正しく整えて書く。 ○自分の書いた文字を見て，自分の文字の課題を見付ける。
9	3　書くリズム（５）	○次の点画へのつながりを意識して「成長」を練習する。 ○次の点画へのつながりを意識して「成長」を清書する。 ○点画のつながりを意識して，「もえぎ」を練習する。 ○点画のつながりを意識して，「もえぎ」を清書する。 ○点画のつながりを意識して，「いろは歌」を書く。
10	4　書く場面と目的	○速く書くときと，ゆっくり書くときの違いを考える。

	（２）	○書く速さの違いを意識して書いてみる。
11	5　文字の大きさと配列　（４）	○用紙に対する文字の大きさを考えて，配列よく「読む」を練習する。 ○用紙に対する文字の大きさを考えて，配列よく「読む」を清書する。 ○文字の大きさや字間に気を付けて，「実りの秋」を練習する。 ○文字の大きさや字間に気を付けて，「実りの秋」を清書する。
12 1	書き初め　（５）	○これまでに学習したことを振り返って立てためあてに気を付けて，「美しい空」を練習する。 ○これまでに学習したことを振り返って立てためあてに気を付けて，「美しい空」を清書する。 ○文字の形や大きさに気を付けて，配列よく「心を開く」を練習する。 ・一文字ずつ一枚の半紙に練習する。 ○文字の形や大きさに気を付けて，配列よく「心を開く」を清書する。 （書き初め大会２時間）
	言葉を増やして，表現力を高めよう　（１）	○思考に関わる語句を用いた文章を，字形を整えて書く。
2 3	6　学習を生かして　（３）	○五年生の書写学習で学んだことを生かして自分でめあてを立て，「出発」を練習する。 ○五年生の書写学習で学んだことを生かして立てためあてを生かして，「出発」を清書する。 ○「前進」「わらべ歌」「竹取物語」から書きたい題材を選び，めあてと練習方法を考えて選んだ題材を書く。

書写６年

第６学年　国語科（書写）		
目標	○用紙全体との関係に注意して，文字の大きさや配列などを決めるとともに，書く速さを意識して書くことができる。 ○毛筆を使用して，穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。 ○目的に応じて使用する筆記具を選び，その特徴を生かして書くことができる。	
月	単元名（時間）	学　習　活　動
4 5 6 7	1　はじめの学習 （２）	○書く姿勢と用具の扱い方を確認し，毛筆で『仲間』の試し書きをする。 ・墨の擦り方，大筆・小筆の後始末の仕方の違いなどを，自分の習字道具を用いて確かめる。 ○島崎藤村「やしの実」の詩を硬筆で書き，自分の文字の課題を見付ける。 ・前学年までに学習した「点画の組み立て方」「部分の組み立て方」「筆順」「中心」「点画のつながり」「文字の大きさと配列」の文字例と自分の文字を比べる。
	2　字形を整える （６）	○「点画の組み立て方」「部分の組み立て方」「筆順」を基に，字形を整えて「以」「限」「歴」「喜」などを硬筆で書く。 ○「かまえ」のある文字の組み立て方に気を付けて，毛筆で『仲間』の清書をする。 ・「１　はじめの学習」の試し書きから，自分の文字の課題を見付け，清書に生かす。 ○三つの部分の組合せでできた漢字の組み立て方を知り，毛筆で『湖』の練習をする。 ○三つの部分の位置や大きさに気を付け，字形を整えて，毛筆で『湖』の清書をする。 ○三つの部分の位置や大きさの関係に注意して，「街」「薬」「桜」「歌」「落」「努」などを硬筆で書く。 ○間違いやすい筆順の文字を見付け，正しい筆順で「垂」「収」「犯」「比」などを硬筆で書く。 ・未習の漢字の場合，筆順を確認する。例：「収」「比」
	3　書くリズム （３）	○「飛」の筆順を基に，正しい筆順とリズムの関係を確認し，毛筆で『飛ぶ』の練習をする。 ○次の点画へのつながりを意識し，正しい筆順やリズムに気を付けて，毛筆で『飛ぶ』の清書をする。 ○ 点画のつながりを意識し，「枕草子」を硬筆で書く。

書写６年

８ ・ ９	４　配列　　（５）	○何行かにわたって文字を書くときのポイントを話し合い，『地球はなぜ・・・』を硬筆で書く。 ○用紙に合った文字の大きさを意識して，毛筆（小筆）で『名月や・・・』の練習をする。 ○用紙に合った文字の大きさを意識して，毛筆（小筆）で『名月や・・・』の清書をする。 ○文字の大きさと配列に気を付けて，毛筆で『夕焼け雲』の練習をする。 ○文字の大きさと配列に気を付けて，毛筆で『夕焼け雲』の清書をする。
１０		
	５　目的に合った筆記具　　（３）	※本単元は，国語「日本文化を発信しよう」の学習と連携して指導する。 ※筆ペンは国語科準備室に４０本程度保管している。 ○鉛筆，大筆，小筆，フェルトペン，ボールペン，筆ペンなどの特徴を基に，「用紙の大きさ」「書く速さ」を観点として，筆記具の選び方を話し合う。 ○「掲示物の書き方」を参考に，日本文化を発信するパンフレットの紙面構成を考える。 ○自分の選んだ筆記具で，日本文化を発信するパンフレットを書く。
１１		
	６　書き初め　（５）	○４字の配列を確かめ，毛筆で『豊かな心』の練習をする。 ○これまでに学習したことを意識して，毛筆で『豊かな心』の清書をする。 ○書き初め用紙の大きさを意識して，毛筆で『希望の朝』の練習をする。 ・用紙の大きさを意識して練習できるよう，手本は配付しない。
１２		
１		○毛筆で『新たな決意』の清書をする。（書き初め大会：２時間）
	７　平仮名と片仮名ができるまで　　（１）	○漢字の始まりについて，教科書や図書資料などを用いて調べたり，行書をなぞり書きしたりする。
２ ・ ３	８　六年生のまとめ　　（３）	○これまでに学習したことを意識して，毛筆で『永遠』を書く。 ○『世界』『伝統文化』『誰かの歌が聞こえる・・・』の中から自分で題材を選び，選んだ理由や立てた自分のめあてを基に，練習をする。 ○選んだ題材について，清書をし，互いの作品を見合って６年間の書写の学習のまとめをする。